
野外炊飯



国立乗鞍青少年交流の家

野外炊飯

白樺林にかこまれた大自然の中，手作り料理で楽しい一時を過ごしましょう。多少できばえが悪くても，みんなで協力して作った食事には，友情という最高のスパイスが入っています。

この野外炊飯は，参加者全員の協力がないと完成しないところに大きな魅力があります。火起こしから野菜の下ごしらえ，さらに後始末など，各自の役割をしっかりと果たすことで，仲間の親睦を深めたり，友達の良いところを発見したりすることができる素晴らしいプログラムです。



1 献立（食材）について（別紙，一覧表参照）

- ・食材，薪は，交流の家の食堂が取り扱います。お支払いは，交流の家食堂へお願いします。食材には，食器類も含まれています。また，食材の受け取りは代表者の立ち会いが必要です。
- ・カレーライス，パエリア，焼きそば，鉄板バーベキューができます。
- ・食材は，班ごとにセットしてお渡しします。**メニュー・班編制については，最低7日前の正午までにお知らせ下さい。それ以降のキャンセルや変更は出来ません。**
- ・薪は，1班（1つのかまど）に一束必要です。3班に一束の予備を準備されると安心です。余った薪は，一束単位で返品できます。

2 団体の人数による活動場所と班編制について

150名まで	交流の家炊飯場	4～7人の班編制
150名以上	高山市営飛騨高山キャンプ場 (交流の家から，徒歩20分)	10～12人の班編制

3 炊事用具の貸し出しについて

【交流の家炊飯場】

炊事用具セット数	30セット	
用具内容	鍋(大), 鍋(小), ざる, ポール, まな板, 包丁, おたま しゃもじ 8点セット	
かまど・蛇口数	第一炊事棟	
	かまど数	16
	蛇口数	16
	第二炊事棟	
	かまど数	18
	蛇口数	6



ご飯は, 小さい鍋で炊くよ!

炊事用具 8点セット (交流の家)



かまどには登らないでね!



蛇口は, 16ヶ所です!

第一炊事棟 (交流の家)

第一炊事棟のかまどは広いので, 同時に鍋を2つ置いて調理することができます。



第二炊事棟（交流の家）

第二炊事棟のかまどは，第一炊事棟にくらべると少し狭いので，鍋は1つずつ置いて調理してください。

【高山市営飛騨高山キャンプ場】（別紙，炊飯場図参照）

炊事用具セット数	40セット	
用具内容	大鍋，小鍋2，まな板2，包丁2，おたま，フライ返し しゃもじ 10点セット	
かまど・蛇口数	炊事棟の数 6ヶ所	蛇口数：それぞれ6ヶ所 かまど数：それぞれ3ヶ所

高山キャンプ場では，1セット1，230円の使用料がかかります。支払いは，高山キャンプ場の管理事務所をお願いします。



小さい鍋でご飯を炊くよ！

炊事用具10点セット（高山キャンプ場）

4 始める前に（安全で衛生的な野外炊飯をするためのお願い）

- ・ 始める前に、職員からのオリエンテーションを受けてください。
- ・ まな板や包丁等の炊事用具は、アルコールスプレーで消毒してください。
- ・ 必ず手を洗ってください。
- ・ 食品受け取り後は、速やかに調理するよう心がけ、キャンプ棟冷蔵庫に保管してください。長時間の放置は厳禁です。
- ・ 食品の調理には、充分加熱調理してください。（特に生鮮食料品）
- ・ 薪割り時の、鉈の使用には充分注意してください。



アルコール消毒液・ハンドソープ



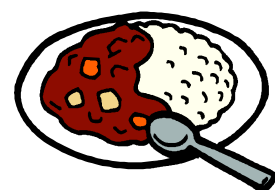
キャンプ棟冷蔵庫

5 検体食の保存について

- ・ 調理後の食材を少量ビニール袋に入れてください。（ひと口程度）
- ・ ビニール袋には、必要事項（団体名・日付・班名）を記載したシールを貼り、検体食用冷凍庫に保管ください。



ビニール袋は、交流の家で準備します。



来たときよりも
美しく！

6 後かたづけ

炊事用具について

- ・ すみずみまで綺麗に洗い，用具の個数を確認してください。
- ・ 返却時には点検を受けていただきますので，必ず連絡ください。
- ・ 鍋，ボール，ザルは裏返しにして籠へ入れてください。

掃除，ゴミの始末について

- ・ ゴミは分別して，キャンプ棟横のゴミステーションへ運んでください。
（高山キャンプ場の場合は，管理事務所の指示に従ってください）
- ・ ゴミ箱には，必ず新しいゴミ袋をセットしてください。
- ・ トイレ，調理台，水場の掃除も忘れずをお願いします。

かまどの始末について

- ・ 絶対に水をかけないでください。燃えかすや残炭は，キャンプ棟裏の灰捨て場に捨ててください。（高山キャンプ場は，各棟に金バケツがセットされています）



灰捨て場（交流の家）



ゴミステーション（交流の家）

鍵はいつも開いてま
す。きちんと分別し
てね！！



炊事用具の数を確認
してから，点検を受
けてね！

鍋，ボールは裏返して入れてください。

7 時間配分について(例)

時間	内容	備考
9:30	食材の受け取り 団体の代表者の方の立ち会いのもと、食材・薪の数を確認します。	食堂職員が食材を炊飯棟まで運んでくれます。
10:00	野外炊飯の説明 鉋やかまどの使い方などの安全管理。食器などの後始末の方法など、全般にわたって説明を聞いてもらいます。	交流の家の職員が説明します。
10:30	活動開始	怪我、火傷に注意。
12:30	後かたづけ 食器あらい、かまど、ゴミなどの始末をお願いします。職員が点検させていただきます。	特に食器あらいについては、厳しく点検させていただきます。全部の班が一発で合格できるよう頑張ってください。
14:30	ふりかえり 終わりの会、反省会など、締めくくりの会を実施してください。	ふりかえりは、自主活動でお願いします。

8 留意事項

- ・ 帽子、軍手、タオルは必ずご持参ください。うちわ、焚きつけ用新聞紙を用意されると便利です。
- ・ 野外炊飯は、雨天実施のプログラムです。炊事棟は屋根付きですが、雨具や着替えの準備をお願いします。台風や荒天で中止とする場合、当日の7時30分までに判断してください。この場合は、特別に食堂で調理してもらうことになります。調理代金として1人50円が必要となります。
- ・ 食材の持ち込みはご遠慮ください。
- ・ 交流の家炊飯場では、雨天時に学習テントを使用することができます。また、高山キャンプ場では、避難用として、もみの木ロッジを使うことができます。

80人くらいは
入れるよ!



学習テント(交流の家)



もみの木ロッジ(高山キャンプ場)